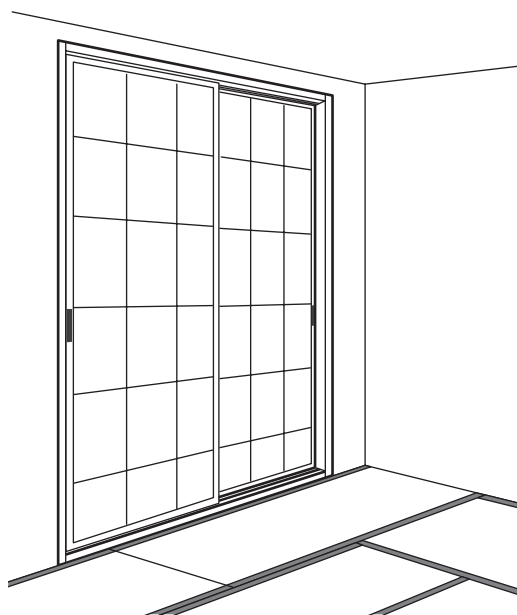


アルミ製障子

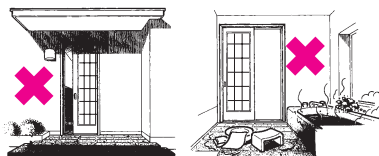
ご注意／施工情報／メンテナンス・調整ポイント

室内ドア

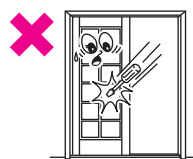


施工上のご注意

●この引戸は一般住宅用の室内用障子です。他の用途へのご使用はおやめください。



●扉・枠に工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。破損するおそれがあります。



●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。扉が閉まりにくくなったり、枠との間にスキマができる原因となります。



●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。

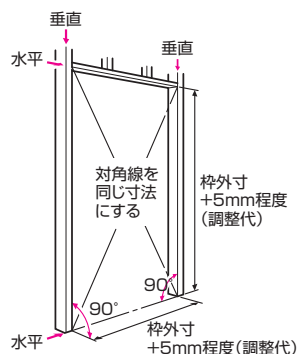
●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

開口部の準備

・開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。

・枠組み立て時の寸法公差を考慮し、開口寸法は5mm程度の調整代を確保してください。

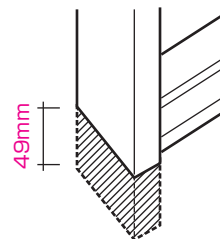
・柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。



施工の前に

縦枠の下端は49mmカットすると、敷居の下面と合うようになっております。必要に応じて下端をカットしてください。

※内障子枠の窓タイプには伸び寸はありませんのでカットしないでください。

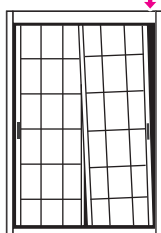


施工後の確認と調整

症状

扉を閉めたとき、縦枠の上または下と扉の間にスキマができる。

スキマ

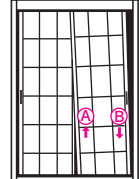


処置

扉の上下調整ネジを、下図の要領で調整してください。

高さ調整

調整範囲 8 mm



初期設定は、一番下げた状態になっております。

Ⓐ 左回し: 上がる

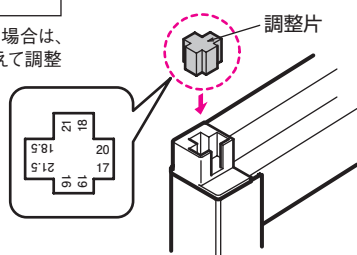


Ⓑ 右回し: 下がる

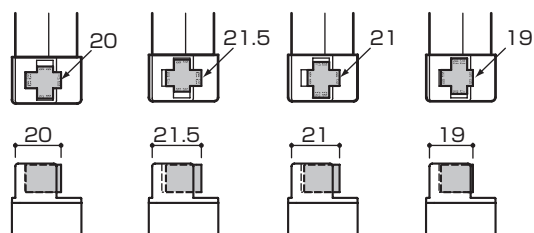
調整時のご注意 扉を上げすぎると、扉の上端と鴨居レールが接触し、動作不良の原因になります。

見込調整

扉を吊込んでガタ等のある場合は、調整片の差込む向きを変えて調整してください。



出荷時



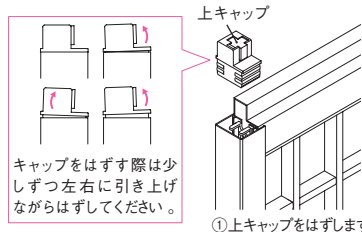
注) 上記以外の詳細につきましては、施工説明書にて必ずご確認ください。

メンテナンス

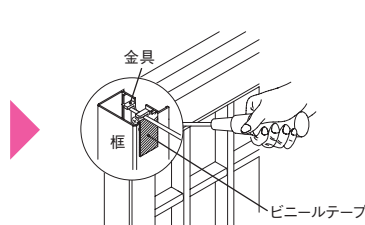
障子 ■メンテナンスについて

- ・障子紙は張り替えができます。障子紙を張り替える場合は下記の手順にて張り替えてください。
- ・障子紙は市販の障子紙を使用してください。

1.アルミ框を外します。

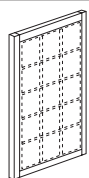


キャップをはずす際は少しずつ左右に引き上げながらはずしてください。

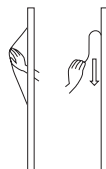


②上框をはずし、組子を上スライドさせはずします。(拡大図の金具部をドライバーなどで持ち上げます。その際は傷が付きやすいので縁にビニールテープなどを貼り、框部が変形しないように金具を持ち上げてください)

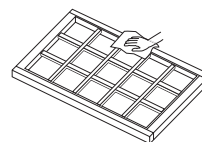
2.障子紙を剥がします。



霧吹きまたは、水を含ませたハケで組子の裏側を十分に濡らし、2～3分放置します。



組子の裏側から障子紙を押し、障子紙が破れないように剥がします。

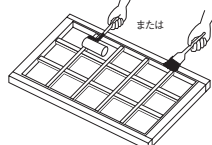


組子の裏のりを拭き取ります。布または柔らかいスポンジを使ってキレイに拭き取ってください。

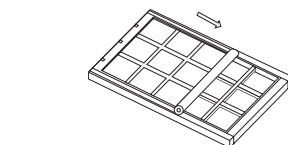
※注意
金属製タワシ、ヘラ等を使ってこすらないでください。

3.障子紙を貼ります。

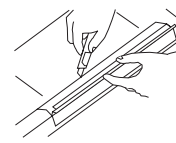
のりは、市販のでんぶん糊をお使いください。



ハケまたはローラーを使って組子の裏にのりをつけます。

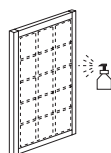


障子紙を貼ります。
障子紙の端面をテープで仮固定して貼るとうまく貼れます。

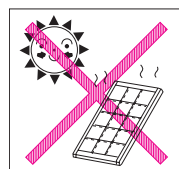
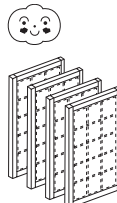


障子紙のいない部分をカッターでカットします。
框の段差を紙じゃくりや定規で押さえて切ると、うまく切れます。

4.仕上げ



全体に軽く霧吹きをします。



風通しのよい日陰で乾燥させます。
直接日光に当てないでください。

調整ポイント

障子

